

2024年6月会議 一般質問から

HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチンのキャッチアップ接種と検診

問

HPVの定期接種を逃した方を対象とするキャッチアップ接種がR7年3月で終了する。
現在 18 歳～27 歳の女性が対象者で、遅くとも初回の接種を今年の9月までに済ませる必要がある。
3回の接種で又間隔を開けなくてはならず、1回目を9月→2回目 11月→3回目3月これがぎりぎり、来年4月から有料になる。
自費だと9価ワクチンは、3回で10万円くらいかかる大変高額なワクチンであり、無料でできる最後のチャンスであるが、個別通知やコールリコールは？

答

6月中に、初回接種を済ませていない方に個別案内をする予定。又広報かはいざわ8月号及びSNS等を活用し、周知を行う予定。



©KOMEITO

問

当町に住民票がある対象者で転出者は（例；学生等住民票を地元に残し町外に出ている）町外でも接種可能か。

答

県医師会に所属している町外の医療機関でも接種は可能。又それ以外の医療機関で接種した場合でも、償還払いの対象となり、無料で接種が行える。



©KOMEITO

No.39 2024年 夏号

さゆり通信

発行：川島さゆり 軽井沢町大字長倉 4280-5 TEL 46-2135

2024年6月会議 一般質問から

「感染対策におけるワクチン助成と情報周知について」を質問！！



イラスト：斎藤暁男



©KOMEITO

带状疱疹ワクチンの助成

問

全国自治体の3分の1が助成に踏み切っているが、御代田町でも助成が4月からスタートした。当町の助成は？

答

国が、定期接種化に向けて動いているので、それを待つような形で検討していきたいと考えている。

子どもの新型コロナワクチン接種の助成

問

なぜ、65才以上の方しか助成ができないのか？

答

65歳以上の高齢者等は、定期接種されており、任意接種の助成を行う場合、重症化予防や重度の後遺症が懸念されることを判断材料の1つとしており情報収集の段階。
国や関係機関の動向及び県の対応状況を注視しつつ、感染症予防や重症化予防だけではなく、経済的支援の視点も加味しながら検討して参りたいと考えている。



©KOMEITO



©KOMEITO

2024年6月会議 一般質問から

子どものインフルエンザワクチン接種の助成

問

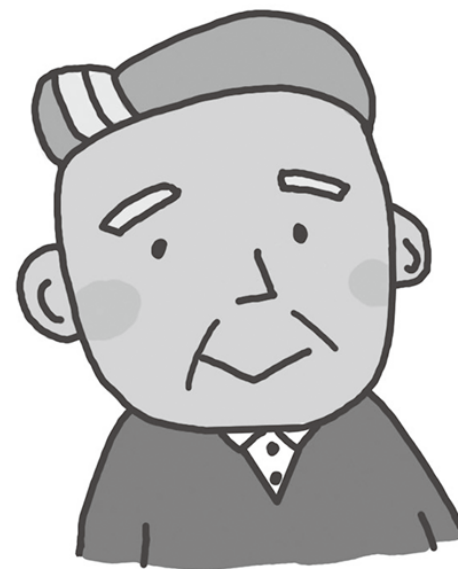
子どものインフルエンザ重症化を防ぐ為に、毎年ワクチン接種が必要で子育て世代にとって接種費用が大変な経済的負担である。
インフルエンザワクチンの料金は、1回につき3,000円～5,000円。13歳以上は1回でもよいが、13歳未満は2回の接種推奨となり、ほとんどの家庭で2回接種され年1万円かかっている。特に多子世帯家族では、経済的負担が大きい。学校保健安全法では、発症した後5日を経過し、且つ解熱した後2日、幼児は3日を経過するまで、出席停止期間とされている。接種しなければ重症化し、保育園や学校を休まなければならない。共働きの保護者は、仕事を休まなければならない。子育て支援の1つの施策と捉え、子どものインフルエンザワクチン接種の助成はできないのか。



©KOMEITO

答

任意接種の助成を行う際、重症化予防や重度の後遺症が懸念されることを判断材料の1つとしていることから、現在、インフルエンザ予防接種は助成の対象としていない。



©KOMEITO

RS（呼吸器合胞体ウイルス感染症）の周知とワクチン助成

- RSは、主に接触感染と飛沫感染で広がり、特に肺炎を引き起こすウイルス感染症として、現在注意喚起されている。
- ほぼ100%の人が2歳までに感染するといわれており、生涯を通じて繰り返し感染する可能性がある。
- 加齢や基礎疾患などで免疫力が落ちた高齢者が感染すると、重症化し肺炎になるリスクが高まる。
- 日本では毎年60歳以上の方、又高齢者の約70万人がこのRSウイルス感染症に感染発症、その内約6万3千人が入院、又約4,500人が亡くなっていると推測。つまり、感染症を発症した方の約10人に1人が入院、入院した方の約15人に1人が亡くなる状況である。
- RSウイルス感染症は、まずは入院させないことが大事、退院してもフレイル状態になるので、寝たきりになる確率が高くなる。
- 介護施設で感染が広がると施設内感染となり危険。
- 国保、介護保険の財源も圧迫する。

問

RSワクチンの周知と助成は費用対効果を考えても大事だが？

答

新しいワクチンであり、町において公費助成を行うには判断する材料が少ない状況にあるので、社会情勢や国・県の動向等を踏まえた上で、今後検討して参りたいと考えている。



©KOMEITO